



シャリンバイ

80 編は 指揮者によって、「ゆり」に合わせて。定め。アサフの詩。賛歌。(1) とあります。定め とは律法、掟、裁きなどの意味ですが、80 編の内容としては、その意味が見出せません。

冒頭に イスラエルを養う方／ヨセフを羊の群れのように導かれる方よ／御耳を傾けてください(2) とあり、ヨセフの名と共に、ヨセフ系の部族である エフライム、ベニヤミン、マナセの前に。目覚めて御力を振るい／わたしたちを救うために来てください(3) と賛歌が進んでいます。

ヨセフと言えばエジプトに奴隷として売られ、夢を解くことでファラオの宮廷の責任者となり、ヤコブ一家を飢饉から救った人物です。ヨセフの最初の夢解き是一本のぶどうの木でした。父ヤコブはヨセフを誰よりも可愛がり、ヨセフは実を結ぶ若木／泉のほとりの実を結ぶ若木。その枝は石垣を越えて伸びる(創 49:22) と祝福を授けていますので、あなたはぶどうの木をエジプトから移し(9) の箇所がヨセフを暗示しているように感じます。それほどまでに祝福されたヨセフ、イスラエルですが、今は神から離れてしまいました。神よ、わたしたちを連れ帰り／御顔の光を輝かせ／わたしたちをお救いください。(4) と、神のもとに戻りたいと救いを求めて祈っています。

神はイスラエルの為に地を整えられ、ぶどうの木は 地に広がりました。その陰は山々を覆い／枝は神々しい杉をも覆いました。あなたは大枝を海にまで／若枝を大河にまで届かせられました。(10) と、大きな祝福を頂きましたが、拡大、成長したのは「枝」であり、「実を結ぶ」とは記していません。

詩人は なぜ、あなたはその石垣を破られたのですか。通りかかる人は皆、摘み取って行き(13) 森の猪がこれを荒らし／野の獣が食い荒らしています。(14) と、「実」は盗まれ、ぶどうの木は滅びるばかりと歎きます。

詩人は、イスラエルは あなたが右の御手で植えられた株(16) であり、そのため 御手があなたの右に立つ人の上であり、ご自分のために強められた人の子の上にありますように。(18) と、指導者と民への祝福を求めています。「神の右に立つ人」という言葉は、旧約聖書では詩編80編にだけ記されていますが、私にとっては あなたたちはやがて、／人の子が全能の神の右に座り、／天の雲に乗って来るを見る。(マタ26:64) と言われた主イエスのことです。同時に私は主イエスの言葉 わたしはまことのぶどうの木、わたしの父は農夫である。…あなた方はその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。(ヨハネ15:1) を思い起こします。「枝」は「幹」に繋がり、農夫である神に従って、成長していかなければ、「良い実」を結ぶことはありません。80編はぶどうの木を通して、これらのことを教えてくれます。

『讚美歌 21』には関連する讚美歌がありませんが、こども讚美歌 60「主イエスはまことのぶどうの木」を口ずさみたくなります。ジュネーブ詩編歌は寂しげながらも豊かな装飾音をもって賛美されています。 <https://www.youtube.com/watch?v=7vvHTJK68Ak&list=PL15DF46D76CA72F5E&index=80>